

2013年度日本陽電子科学会総会の報告

日 時: 2013年12月7日(土) 12:00-13:00

場 所: 京都大学原子炉実験所 会議室

出席者数: 42名, および委任状24名分(定足数: 37名)

議事録:

(1) 会則の変更

会報刷新に伴う編集委員会の設置など広報関係の体制強化と事務局関連業務の明確化のため、会則の改定案が理事会より提出され、承認された。

(2) 2013年度活動報告

○第6回陽電子科学研究会(京都関西セミナーハウス, 2013.9.3-5, 幹事: 京大白井研究室)について報告された。

○JPOSS Newsletter(2013年2月)発行(担当: 荒木理事)について報告された。

○会報「陽電子科学」の創刊と第1号(2013年9月)発行について、編集委員会 藤浪委員長より報告された。

○日本学術会議協力学術団体への申請状況について藤浪副会長より報告された。

○日本学術界会議「学術の大型施設計画・大規模研究計画」に対応するため、長嶋副会長を委員長、白井会長と兵頭顧問を副委員長とした、大型低速陽電子実験施設建設計画推進委員会の設置が理事会にて決定されたことが、長嶋副会長より報告された。

(3) 2012年度会計決算と2013年度会計中間報告

以下の通りの2012年度決算が承認された。

【2012年度会計報告(決算)】

収入		支出	
科目	金額(円)	科目	金額(円)
会費等収入		印刷代	144,160
個人	184,000	郵送費	23,720
賛助	10,000	雑費	280
広告掲載料	50,000	次年度繰越金	439,307
前年度繰越金	363,467	合計	607,467
合計	607,467		

※別途会計: ICPA 特別基金から陽電子科学研究交流会に10万円を補助金として支出(2012年度残額: 1,908千円)。

なお、本決算は収支決算書および支出領収書等関連資料に基づき、赤羽隆史氏(H25年1月29日付)、斎藤晴雄氏(H25年1月29日付)の本会両監事により監査を受け、承認されたものである。

また、2013年度会計の中間報告がなされた。

【2013年度会計報告(中間)】

科目	金額(円)	科目	金額(円)
会費等収入		交通費	
個人	190,000	理事会	3,960
賛助	10,000	推薦委員会	54,460
広告掲載料	50,000	編集委員会	92,560
前年度繰越金	439,307	印刷代	201,600
収入合計	689,307	人件費	10,000
		郵送費	26,860
		会議費	4,500
		事務文具費	47,730
		雑費	23,875
		支出合計	465,545
		収支差額	223,762

※別途会計: ICPA 特別基金から陽電子科学研究交流会に10万円を補助金として支出(2013年度残額: 1,808千円)。

(4) 今後の運営方針および会費額改定について

今年度より刷新された会報の編集・発行に関して、編集委員会を新たに立ち上げるなど体制強化を図った。それに応じて変化した財務状況に対応するため、2015年度からの年会費改定が理事会より提案され、承認された。なお、2014年度の会費は現状維持とし、財務状況を精査した上で、改定額を次回総会にて決定することとした。

(5) 2014年度活動計画および予算

○第7回陽電子科学研究交流会は、千葉大 藤浪研究室が幹事となり、夏に開催される予定であることが報告された。詳細は春に周知される予定である。

○会報「陽電子科学」の発行(2月と9月)について藤浪編集委員長より報告された。

○2014年度予算として以下の案が承認された。

【2014年度予算(案)】

収入(円)		支出(円)	
会費等収入	250,000	会報発行	240,000
繰越金	200,000	編集委員会	90,000
合計	450,000	事務雑費	20,000
		人件費	20,000
		予備費	80,000
		合計	450,000

※別途会計: ICPA 特別基金から陽電子科学研究交流会に10万円を補助金として支出予定。

(6) 陽電子関連の国内・国際会議

関連会議について以下の通り報告された。

○第2回陽電子科学日中共同ワークショップ(JWPS2013)(産総研つくば, 2013.12.21-23)

○第51回アイソトープ・放射線研究発表会(東大農学部, 2014.7.7-9)

○PSD-14(京大, 2014.9.14-19)

○PPC-11(インド, 2014.11.9-14)

○ICPA-17(中国, 2015年)

○SLOPOS-14(松江, 2016年5月)

○ICRR 2015(京都, 2015.23-29)

(7) 2013年度日本陽電子科学会奨励賞の報告と授賞式

本年度奨励賞の和田健氏(KEK)への授与決定が白井会長より報告され、同氏に対する授賞式が行われた。

2013年第3回日本陽電子科学会 理事会

日 時: 2013年12月6日(金) 12:30-13:55

場 所: 京都大学原子炉実験所 図書棟 会議室

出席者: 白井 泰治(議長), 藤浪 真紀, 長嶋 泰之, 荒木 秀樹, 河裾 厚男, 鈴木 良一, 永井 康介, 平出 哲也, 伊藤 賢志(事務局)

議事録:

1. 前回理事会議事録を確認、承認した。

2. 2013年度総会の議事次第, および審議内容について、以下の項目について議論した。

(1) 会則の変更

会報刷新に伴う編集委員会の設置など広報関係の体

制強化と事務局関連業務の明確化のため、会則の改定案を起案し、総会にて審議することとした。

- (2) 2013 年度活動報告
- (3) 2012 年度会計報告と 2013 年度会計経過報告
- (4) 今後の運営方針についてと会費改定
今年度の財務状況を受け、今後の運営方針を検討した結果、2015 年度から年会費を増額すること、および改定額は 2014 年度中に決定することを総会に提案することとした。
- (5) 2014 年度活動計画
- (6) 2014 年度予算
- (7) 陽電子関連の国内・国際会議

- (8) その他（理事会報告事項など）
- (9) 日本陽電子科学会奨励賞 報告と授賞式

3. 編集委員会の活動状況および会報第 2 号と第 3 号の主要記事掲載予定について藤浪編集委員長より報告された。
4. その他
○ 2013 年 7 月-12 月度の入退会者について、入会者：8 名（内訳正：4、学生：4）、退会者：1 名（同学生：1）であった。なお、所在不明者については、適宜連絡を試みた後、退会手続きを講ずることとした。
○ 会費滞納者について、学会発足後の会費未納分については、該当者に連絡し、納付を促すこととした。

■ 入・退会情報（2013 年 8 月-12 月度）

【入会者】

会員番号	氏名	所属	種別	入会日
0136	徳満 勝久	滋賀県立大	正会員	2013/9/4
0137	南雲 一章	東北大	正会員	2013/9/18
0138	中村 哲浩	中村鉄工(株)	正会員	2013/10/14
0139	佐藤 哲也	山梨大院	正会員	2013/10/14
S0075	林 明日香	滋賀県立大院	学生会員	2013/9/4
S0076	山下 貴志	東理大	学生会員	2013/9/20
S0077	柳楽 勝	東理大	学生会員	2013/10/15
S0078	安達 俊介	東大院	学生会員	2013/11/15

【退会者】

会員番号	氏名	所属	種別	退会日
S0067	稲村 直晃	学芸大	学生会員	2013/9/7

■ 会員拡充と情報更新のお願い

陽電子科学に関心のある、大学・研究所・企業などの研究者、技術者の方にお声かけください。入会にあたっては、所定申請書に必要事項をご記入の上、事務局までお送りください。詳細は当会 WEB サイトにてご確認ください。また、所属や電話番号、電子メールアドレスなど連絡先の変更は事務局までご連絡ください。学生会員の担当教員におかれましては卒業時の更新について連絡をお願いします。

■ 2014 年度会費納入のお願い

2014 年度の会費 (2,000 円) をご納付下さい。また 2013 年

度以前の会費が未納の方は、その分とあわせてお振込ください。

郵便局からの振込先：ゆうちょ銀行
口座記号番号：00150-5-743474

※振込み手数料金は会員のご負担とさせていただきます。また領収書は振替払込請求書兼受領証をもって代えさせていただきます。ご不明な点は、事務局までお問い合わせください。銀行振込をご希望の方は、

銀行名：ゆうちょ銀行
店名：0一九店（ゼロイチキュウ店）
口座番号：当座 0743474
口座名義：日本陽電子科学会

にお振込みください。

■ WEB とメーリングリストについて

日本陽電子科学会の WEB アドレスは <http://www.positron-science.org/> です。日本陽電子科学会のメーリングリストへの投稿をご希望の方は、

日本陽電子科学会 事務局 <office@positron-science.org> までご連絡ください。

■ 正誤表

「陽電子科学」2013 年第 1 号の記事に一部誤りがありましたので、下記の通り訂正いたします。

訂正箇所	誤	正
p.4, 右段, 7 行目	$\text{Br}^- + e^- \rightarrow \text{BrPs}$	$\text{Br}^- + e^+ \rightarrow \text{BrPs}$
p.6, 図 5, 横軸	$R - \Delta R$	$R_0 - \Delta R$

日本陽電子科学会 会則

平成 20 年 8 月 13 日制定

第 1 章 (総 則)

- 第 1 条 本会は日本陽電子科学会（英文：Japanese Positron Science Society, 略称 JPOSS）と称する。
- 第 2 条 本会は陽電子に関する物理，化学，生物およびその他の分野，ならびに陽電子の応用に携わる研究者・技術者相互の連絡をはかり，陽電子の科学や利用技術の発展に寄与することを目的とする。
- 第 3 条 本会は前条の目的達成のため次の事業を行う。
- (1) 研究発表会，討論会，講演会および講習会等の開催
 - (2) 国際研究集会の開催
 - (3) 刊行物の発行
 - (4) その他本会の目的達成に必要な事業
- 第 4 条 本会は事務局を設置し，その所在地は理事会で定める。
- ②理事会において事務局担当を役員から 1 名選任し，当該担当は本会の運営に関する事項などに当たる。
- 第 5 条 本会に必要な地に支部を置き，また専門分野の必要に応じて部会及び委員会を置くことができる。支部，部会及び委員会に関する規定は，別に定める。

第 2 章 (会 員)

- 第 6 条 本会は本会の趣旨に賛同する会員で構成される。本会の会員は正会員，学生会員，賛助会員および名誉会員の 4 種とする。
- 第 7 条 本会の会員は，所定の会費を納めるものとする。会費の滞納者には，未納通告を行い，当該会員へのサービスを停止することができる。
- 第 8 条 本会の会費年額は，正会員 2,000 円，賛助会員 1 口 10,000 円とする。学生会員および名誉会員は会費を免除する。
- 第 9 条 本会に入会を希望するものは，所定の様式により入会を申請し，理事会の承認を得なければならない。退会を希望するものは書面でその旨申し出ることとする。
- 第 10 条 会員が次の各号に該当するときは，会長は理事会で承認後，総会において除名の決議が行われた会員を除名することができる。
- (1) 会費を滞納した会員
 - (2) 本会の名誉を傷つけた会員
- 第 11 条 本会に特に功績のあったものを，理事会は推薦し，総会の承認により名誉会員とすることができる。

第 3 章 (役 員)

- 第 12 条 本会には次の役員を置く。
- 会長 1 名，副会長 若干名，理事 若干名，監事 2 名，顧問 若干名
- 第 13 条 会長，副会長は理事会が推薦し，総会で決定する。
- 第 14 条 会長は本会を代表し，会務を総理し，総会および理事会を召集してその議長となる。副会長は会長を補佐し，会長に事故あるときはその職務を代行する。
- 第 15 条 理事は会員の中から次年度会長が推薦し，総会で決定する。
- 第 16 条 監事は総会で正会員の中から選出する。
- 第 17 条 顧問は次年度会長が推薦し，総会で決定する。

第 18 条 監事は会務および財産の状況を監査し，理事会に出席して意見を述べることができる。

第 19 条 役員の任期は 2 年とし，1 月 1 日から翌年の 12 月 31 日までとする。ただし，再任をさまたげない。

第 4 章 (会 合)

- 第 20 条 総会は毎年 1 回これを開く。その他，会長が必要と認めるとき，監事の請求，または会員の 3 分の 1 以上の請求があったときに会長が召集する。
- 第 21 条 総会は全会員の 4 分の 1 以上の出席をもって成立する。ただし委任状を含む。
- 第 22 条 総会では次の事項を決議する。
- (1) 会則の変更
 - (2) 役員の選任
 - (3) 事業計画および収支予算
 - (4) 事業報告および収支決算
 - (5) その他理事会が必要と認める事項
- 第 23 条 総会の議事は出席会員の過半数で決し，可否同数の場合は議長が決する。
- 第 24 条 理事会は会長，副会長，理事をもって構成され，会長が随時これを招集し，会の運営にあたる。

第 5 章 (資産および会計)

- 第 25 条 本会の資産は会費ならびに本会の目的を達するため寄付された金員および物件，事業に伴う収入，その他雑収入とし，その管理は総会の定めるところによって理事が行う。
- 第 26 条 本会の事業年度は 1 月 1 日に始まり，12 月 31 日に終わる。

第 6 章 (解 散)

第 27 条 本会の解散と，それにともなう残余財産の処分は理事会および総会の議決を経るものとする。

第 7 章 (会 報)

- 第 28 条 会報には研究関連記事，学会等記事，本会からの案内，その他本会が適当と認めた事項を掲載する。
- 第 29 条 会報の編集を担当する役員を 1 名選任し，編集委員長として編集に関する事項などに当たる。また，会報の刊行を担当する役員を 1 名選任し，会報刊行担当として刊行に関する事項などに当たる。なお，両担当は理事会で選任する。

(付則)

本会則は平成 21 年 1 月 1 日からこれを施行する。
陽電子科学研究会会員は平成 21 年 1 月 1 日に本会の会員に自動的に移行する。

(平成 23 年 12 月 3 日改訂)

(平成 24 年 12 月 1 日改訂)

(平成 25 年 12 月 7 日改訂)

日本陽電子科学会会報「陽電子科学」(以下、会報と略す)は、編集委員会(以下、委員会と略す)の依頼による寄稿と、会員からの投稿からなる。依頼による寄稿は会員外による場合も認める。掲載の採否は委員会にて決定する。内容および表現などについて委員会が修正を依頼することがある。

原稿は原則として TeX スタイルでの電子データ作成とするが、WORD ファイルの電子データでもよい。両スタイルファイルは本会 WEB ページからダウンロードして、利用することができる。著者が TeX スタイルの原稿を作成できない場合には、委員会において TeX スタイルに変換する。1 ページ目に「題目(和文、英文)」「全著者名、所属および住所(英語表記も含める)、代表著者の連絡先(住所、TEL/FAX、電子メールアドレス)」、2 ページ目に「和文要旨(200 字程度)、英文要旨(150 Words 程度)、キーワード(和文および英文で3 個以上9 個以下)」、3 ページ目から本文、参考文献、表、図のキャプションと続き、最後に全著者の紹介(写真(JPEG ファイル)および略歴等)の順番で記述する。図は一つの図毎に PDF 形式あるいは EPS 形式のファイルとして別途作成し、本文とともに投稿する。また、原稿提出時に著作権譲渡に関する承諾および掲載図等の掲載許可等に関する「記事出版に関わる確認書(以下、確認書と略す)」を添付する。本会指定の書式である「確認書」は本会 WEB よりダウンロードできる。会報の刷上りはモノクロ印刷であるが、WEB 版にはカラー版での掲載が可能である。

1. 主な内容と執筆要領

- (1) 巻頭言(刷上り1 頁)

委員会から依頼された会員がその所信を述べる。
- (2) 入門講座(刷上り頁に制限はつけない)

陽電子科学の初学者の啓蒙のため、各研究の説明および最近の研究を平易に説明する。
- (3) 最近の研究から(刷上り4 頁-6 頁)

陽電子科学等がかかわる最近の進歩が著しい特定の主題について、現在の研究状況とその内容を専門外の会員にも理解しやすいよう紹介する。
- (4) 総説(刷上り10 頁以内)

陽電子科学等がかかわる特色ある研究を中心として、分野全般にわたる最近の進歩とその背景を、広い視野から総合的に解説する。
- (5) 実験技術紹介(刷上り1 頁-2 頁)
 - 1) 広い範囲の人々にとって興味のある実験法について、その原理と技術上の問題点、それが貢献できる分野などを紹介する。
 - 2) ある実験の目的のための有効な知識、コツなど、普通の解説書には表しにくいような記事。
- (6) 特別企画(別途指定)
 - 1) 退職記念講演、講座、座談会、特定分野の特集などは委員会が随時企画する。
 - 2) 内容と執筆要領はその都度委員会が定める。
- (7) 受賞記事(刷上り4~6 頁)

本会奨励賞受賞者および会員が授与された賞に関する業績記事。
- (8) 追悼(刷上り1 頁以内)

陽電子科学への貢献の大きかった会員、名誉会員、国内外の陽電子科学研究者に対する追悼記事。執筆者は委員

会から依頼する。

- (9) 研究室紹介(刷上り1 頁-2 頁)

陽電子科学関連の国内外の大学・研究機関・民間企業の研究グループの紹介記事。執筆者は委員会から依頼する。
 - (10) 国内外の陽電子科学関連集会の案内記事
 - 1) 国内で開催した陽電子科学関連学会および研究会等のプログラムの紹介
 - 2) 国内外の陽電子科学関連学会および研究会等の開催案内
 - (11) 共同利用施設からのお知らせ

陽電子科学関連の全国共同利用施設等からの案内記事。
 - (12) 国内外の陽電子科学関連学会の印象記(刷上り1 頁)
 - 1) 国外の陽電子科学関連学会・研究会等の参加者にその学会印象記事。執筆者は委員会が依頼する。
 - 2) 陽電子科学研究交流会の印象記事。執筆者は委員会が依頼する。
 - (13) 会員からの声(別途指定)
 - 1) 広く会員にとって関心があると思われる話題についての個人的な意見や感想を述べた投書を掲載する。
 - 2) 掲載の採否は委員会の判断によるが、その内容に関する責任は投稿者が負う。
 - (14) 事務局からのお知らせ
 - 1) 総会、理事会等の議事録。
 - 2) 入会、退会者記事。
 - 3) その他の本会運営に関する案内記事。
- ## 2. 原稿作成上の注意
- (1) TeX 用スタイルファイルあるいは WORD スタイルファイルを利用して原稿を作成する。依頼原稿は依頼した編集担当委員宛に電子メールなどを利用して電子データで提出する。その他の原稿は、下記4 の問合先に提出する。
 - (2) 指定頁数を大幅に超過した場合には原則として短縮を求めることがある。目安として2400 字が刷上り1 頁となる。簡単な図の場合には、600 字と考えるとよい。
 - (3) 本文は黒色、横書きとし、専門用語以外は原則として常用漢字・新仮名づかいを用いる。不必要な外国語の使用は避ける。句読点は、「,」「.」に統一する。
 - (4) 単位は原則として SI 単位を用いる。数字と単位の間は半角を空ける。単位は「ms⁻¹」のように表記する。
 - (5) 原稿の言語は日本語とするが、委員会が認める場合には英語でもよいとする。日本語で書いた場合には、英数字はすべて半角とする。
 - (6) 数式には式1、式2 と通し番号をつけ、イタリックで書く。また、物理定数や物理量を示す記号もイタリックとする。
 - (7) 表は別紙に書き、表1、表2 のように通し番号をつけ、説明文、表を続ける。他の文献から引用する場合には引用文献を記載する。
 - (8) 図および写真には図1、図2 のように通し番号をつけ、一つの図毎に別紙に書き、本文とは別に PDF 形式あるいは EPS 形式で作成する。また、図説としてキャプションは本文にまとめて記す。他の文献から図を引用もしくは転載する場合には、必ず引用文献を記載する。

(9) 参考文献

- 1) 文献引用の範囲は、それが必要かつ十分であるように留意する。私信のような一般の人が入手しにくい文献は引用することをできるだけ避ける。
- 2) 文献の引用は Beckham,¹⁾ Coleman,^{2,3)} Lewis⁴⁻⁶⁾ などのように通し番号をつけ、論文の末尾に一括して示す。1つの番号には1つの論文が引用されることが望ましい。
- 3) 参考文献の書き方は著者名、誌名、巻、年、頁の順とする。著者名は原則として省略しない。巻数はボードの指定をする。雑誌名の省略及び欧文の書き方は AIP の方式に準ずる。単行本の書名のうち日本語のものは「」でくくり、欧文のものはイタリックの指定をする。日本語の場合は人名、書名とも省略しない。次の例の形式にならう。
 - 1) 谷山雅夫, 福田博: 日本陽電子科学会会報 **3** (1993) 23.
 - 2) H. Goto, A. Baba, B. Smith, C. Dormel: Phys. Rev. Lett. **64** (1990) 235.
 - 3) 小林祐輔: 「陽電子のフロンティア」(科学同人, 2011) p. 293.
 - 4) G. Smith, J. Thomas: Positron & Positronium Physics (ADG Academic, 2001) p. 111.
 - 5) <http://chemistry.ttf.tohzai-u.jp/gabcb111/index.html>
- (10) 著者校正は必ず1回以上行い、それにより内容および表記について著者が最終的な了解をしたと判断する。
- (11) 別刷は作成しない。
- (12) 他の文献から転載または修正して転載する場合には、著作権の問題があるため、必ず出典を明記し、著者自身が

著者および発行者の書面による許可(自著の場合にも必要)を得ること。なお、著作の代表者は掲載許可に関する「確認書」を提出すること。

- (13) 謝辞が必要な場合は原稿作成にかかわるものに限定し、本文最後に簡潔に記載する。

3. 著作権

(1) 会報に掲載された寄稿等の著作権

会報に掲載された寄稿・投稿等(以下寄稿等という)の著作権は日本陽電子科学会に帰属する。著作の代表者は著作権譲渡に関する委嘱に関して、「確認書」を提出すること。

(2) 寄稿等の利用

寄稿等の全部または一部を他の出版物に転載し、翻訳し、あるいはその他の利用をしようとする者は、本会の承認を得、またその寄稿等が会報に掲載されたものであることを明記(出所明示)しなければならない。

4. 問合せ先

〒305-8565 つくば市東 1-1-1 つくば中央第五
産業技術総合研究所 計測標準研究部門 伊藤賢志 気付
日本陽電子科学会 編集委員会
E-mail: editor@positron-science.org
TEL/FAX: 029-861-4622, <http://positron-science.org/>

(平成 25 年 9 月 2 日一部改訂)
(平成 25 年 12 月 23 日一部改訂)

編集後記

新生「陽電子科学会誌」第2号いかがでしたでしょうか？この半年で会員数も大分増えましたが、その中には会誌第1号を見て入会された方も多くようで、編集委員としては嬉しい限りです。

年2回の発行は、原稿の新鮮さと安定確保の両立がとても難しいと実感しています。毎号入門講座2稿、最近の研究から3稿程度を目安に進めていますが、執筆いただいた原稿はなるべく早く掲載したい一方、原稿の安定確保の観点からは1年以上先の原稿の依

頼を出す必要もあります。多少の掲載の遅れは何卒ご容赦ください。

第1号の発行後には、編集委員も増員しました。立派な学会誌を継続できるように今後も努力していきたいと思いますので、執筆や査読など今後ご協力をよろしくお願い致します。また、記事のリクエスト等あれば、いつでも編集委員にご連絡ください。(YN)

日本陽電子科学会

■役員（任期2013年1月1日より2014年12月31日まで）

会長 白井泰治（京大院工）

副会長 長嶋泰之（東理大理） 藤浪真紀（千葉大院工）

理事 荒木秀樹（阪大院工） 伊藤賢志（産総研） 河堀厚男（原子力機構） 小林慶規（産総研）

島津彰（日東電工） 鈴木良一（産総研） 永井康介（東北大金研） 平出哲也（原子力機構）

顧問 義家敏正（京大原子炉） 兵頭俊夫（KEK） 監事 堀史説（大阪府立大） 和田健（KEK）

■編集委員会

委員長 藤浪真紀 副委員長 永井康介

(刊行) 荒木秀樹 (主任) 伊藤賢志 井上耕治 大島永康 岡壽崇 佐藤公法

学会事務局 〒305-8565 つくば市東1-1-1 つくば中央第五 産総研 計測標準研究部門 伊藤賢志 気付

E-mail: office@positron-science.org, TEL/FAX: 029-861-4622

陽電子科学 第2号(2014)

発行人 白井泰治

発行所 日本陽電子科学会 〒305-8565 つくば市東1-1-1 つくば中央第五

印刷所 株式会社 芳文社 〒194-0037 東京都町田市木曾西2-3-14

印刷日 2014年1月25日

発行日 2014年2月1日（年2回2月1日および9月1日発行）

頒 価 2,000円（会員の購読料は会費に含む）

本誌記事の無断複写等を禁じます。